

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム ふれあいの家 祝町作成日: 平成 30 年 12 月 1 日

## 目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議を活かした取り組み	参加委員が固定化し、内容もホームからの報告が中心となっている。参加委員の増員を図り、議題や会議の内容を検討し、会議の中身をホーム運営に反映させていく。	運営推進会議を地域との関係作りの窓口と捉え、特に地域の方の参加をお願いし、情報交換や課題などを話し合い、ホームの問題だけでなく地域で困っていることについても話し合い、地域福祉の拠点を目指していく。	12ヶ月
2	51	日常的な外出の支援	職員不足と利用者の重度化から、全員での外出や日常的な散歩、買い物の機会が減ってきている。ボランティアや家族の協力をお願いしたり、職員配置を工夫する等して、日常的な外出の支援に取り組んでいく。	利用者の希望を聞きながら、外出レクリエーションを定期的に計画し、地域の行事や活動にも、利用者職員が積極的に参加できるよう支援に取り組んでいく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。